

令和6年度

協働環境委員会資料
令和8年5月18日提出

協働のまちづくり応援補助金

「やりたい」を「カタチ」にした！



チャレンジing事業 活動レポート



飯塚市役所 市民協働部 市民活動支援課
〒820-8501 福岡県飯塚市新立岩5番5号 飯塚市役所(本庁舎) 4階
☎0948-96-8259 (直通)
E-mail:shiminkatsudou@city.iizuka.lg.jp



も く じ

◇ 事業名称（実施団体）

◆ テーマ事業 ◆

◇ 繋げよう広げよう！カレーの輪

（カレー食堂の会） ---- 1

◇ かいたマルシェ

（かいた子育てサポート・ジャム） ---- 3

◇ 飯塚市民の健康増進を安全な食と農業から考える取り組み

（Y&Y ヘルスケア） ---- 5

◇ サイレントカップ

（NPO法人LIGアカデミー） ---- 7

◇ 身近でアウトドア(秋編)（親子でアウトドアクッキング）

（飯塚レクリエーション研究会） ---- 9

◆ テーマ事業（先駆的） ◆

◇ アンブレラスカイin飯塚

（NPO法人サカ工会） ---- 11

◇ 革新的農業への道

（明星(あかり)） ---- 13

◇ 飯塚を桜で彩ろう(さくらびとPROJECT)

（赤坂調整池有効利活用企画委員会） ---- 15

◇ 認知症の人と家族の会いいづかによるアルツハイマー月間

普及啓発及び認知症早期発見 新規イベント

（認知症の人と家族の会いいづか） ---- 17

◆ コミュニティ事業 ◆

◇ 鯉！来い！こいのぼり！

(目尾フォーラム) ---- 19

◇ 子育てママへのクリスマスプレゼント。

(うちの。) ---- 21

◇ 久世ヶ浦自治会なないろ事業
～クリスマス会で世代間交流～

(久世ヶ浦自治会) ---- 23

◇ 三世代交流～敬老者感謝の集い～

(神之浦自治公民館) ---- 25

◆ コラボ事業 ◆

◇ 獅子舞フェスティバル

(獅子舞フェスティバル実行委員会) ---- 27

◇ ほなみ ウォーーク！！！！

(穂波若者実行委員会Academy's) ---- 29

カレー食堂の会

R5

R6

繋げよう広げよう！カレーの輪



目的

孤独や孤立を抱えている人を一人でも減らすことを目的とし、高齢者の社会参加の場や児童の自主性を育み、成果を見守る場、カレーを食べながら気軽に交流できるコミュニケーションの場を作り、コミュニティの場を通して、それぞれの世代が抱える不安感や孤独感が軽減でき、地域住民同士の見守りや地域活性化につなげる。

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第三金曜日 16:00～18:30 ・カレーを無料提供。 (小さな子どもや食べられない方には肉うどんを提供) ・児童から高齢者まで世代問わず自由参加。 (付き添いの方も歓迎) ・児童には勉強の場、英会話教室、工作の場などを提供。 ・ボランティアの専門職を配置し、困りごと等の相談も受付ける。 		
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・回数を重ねるごとに子どもたちの協調性が養われ、宿題や英会話教室、工作等、時間ごとのリズムも定着してきたと思う。 ・妊婦の方が児童を連れて「ここに食事に来るのが楽しみ」「子どもを見てもらいながら友達と食事ができるので助かっている」 ・多動症の子どもを持つお母さんから「子どもが楽しく過ごしてくれているので安心しています」等の声も多く聞けるようになった。 		
参加人数	187名	対象経費	食料材料費(需用費) 紙コップ、紙皿、スプーン (需用費) 工作費(需用費) など
総事業費	61,015円		
交付確定額	45,000円		
代表者	代表 山本 秀子		
実施状況	開催回数:7回		
実施場所	デイサービス山桜		
実施期間	令和6年6月1日～令和7年2月21日		
次回以降の見通しと課題	<p>課題として、子どもたちの協調性が養われてきたものの、喧嘩をしたり走り回ったりルールを守れない子どもたちもいる。そのため一人ひとりがルールを守り思いやりを持って過ごせる環境作りが必要である。</p>		

かいた子育てサポート・ジヤム

R5

R6

かいたマルシェ




目的

(か)語って(い)一緒に(た)楽しむマルシェを実施することで、マルシェに出店する人も参加するお客さんも、みんなが関わり合える、人と人、人とモノ・コト、場とココロがつながるコミュニティを創る。

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・“自らつくる 共につくる”をキーワードに、主催者の企画に出店者がそのまま賛同して参加するのではなく、主催者も出店者もそれぞれの想いを語り合い、ゼロから形にしていく。 ・子ども達にも参加を呼びかけ、主体的に「働く」チャンスになるよう事前準備から大人と共に参画する。 ・高齢者施設や障がい者施設、子ども園などの方が会場に来れなくても参加できる「ぬり絵大会」や誰でも何処でも投稿でき、地域広報になる「自治会のうたショート動画」募集など、いろんな形で地域の方が参加できる。 		
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・颯田地区に長年住んでいても知らなかったり、繋がりのなかった施設・団体の方たちの顔や活動内容を知るきっかけになった。 ・出展者は一緒に作る過程を体験することで達成感を味わえた。 ・学校掲示、「かわら版」配布、ポスター、SNS発信での広報を行った結果。昨年を大きく上回る【颯田地区184名】・【地区外318名】➡【合計500名以上】の集客ができた。 		
参加人数	500名	対象経費	ポスター、チラシ印刷費 (需用費) 文房具、紙(需用費) 保険料(役務費) 警備(駐車場見守り)費(委託費) 講師謝礼金(報償金) など
総事業費	237,479円		
交付確定額	150,000円		
代表者	代表 浅田 なおみ		
実施状況	開催日:12月15日 (他マルシェ会:10回)		
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・颯田交流センター ・小中一貫校 颯田校 		
実施期間	令和6年8月1日～令和7年3月31日		
次回以降の見通しと課題	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントを通して出来た「地域の輪」の継続。 ・小学生も出店するので、出店料を徴収しないなどの負担を軽減して気軽に参画できることを目指す。 ・切れ目ない地域イベントにする為、SNS等の発信を絶やさない。 ・イベントの規模に見合った会場、机や椅子など必要物品不足。など継続していくためには、事業の在り方や進め方、会場設定などについての検討が必要。 		

Y&Y ヘルスケア

R6

飯塚市民の健康増進を 安全な食と農業から考える取り組み



目的

健康な身体作りにおいて食や農業は欠かせないものであるが、農業には①高齢化に伴う農家の減少による一次産業の衰退、自給率の低下。②農薬使用による野菜の栄養・免疫力低下、環境汚染。などの問題がある。それを解決するため、新たな取組みで一次産業の評価や農作物の価値の是正を行い、環境に配慮した農業推進による環境改善、若い世代に農業や自然を意識づけることで、安全な食や農業に興味を持ち、健康を考え免疫力を高める方法を学ぶ機会とする。

事業の内容	<p>①8月4日～「みんなに知ってもらおう！食の変化が身体を変える」(飯塚ゆめタウン内ゆめホールよりInstagram配信)</p> <p>②9月8日～土の微生物を育てる土づくりとビーツの種まき(飯塚市大分の圃場:配信)</p> <p>③10月13日～ミネラル米の試食とミネラル米の分析結果報告(筑穂大分公民館:配信)</p> <p>④1月12日～ミネラルビーツの収穫体験(飯塚市大分の圃場・役員自宅:配信)</p> <p>⑤3月9日～ビーツの栄養分析結果報告と圃場へのミネラル散布(飯塚市大分の圃場:配信)</p> <p>・収穫した農作物の栄養比較(検査機関へ提出)</p>		
事業の成果	<p>開催時、ミネラルや農薬低減での農業について否定的な意見が多かったが、『身体に与える影響』を伝えることで、回を重ねるごとに食や身体についての質問が増えたり、イベントへの協力や応援をしてくれるようになった。</p> <p>Instagram発信からは、イベント参加や農業支援の声も頂いた。</p>		
参加人数	36名(Instagram再生回数1,959回/3月10現在)	対象経費	<p>肥料代(需用費)</p> <p>食材費(消耗品費)</p> <p>栄養成分分析代(委託費)</p> <p>団体交通費(交通費)</p> <p>団体食事代(食事代) など</p>
総事業費	325,420円		
交付確定額	150,000円		
代表者	代表 橋本 佳子		
実施状況	開催日:5回		
実施場所	飯塚ゆめタウン内ゆめホール他		
実施期間	令和6年8月1日～令和7年3月31日		
次回以降の見通しと課題	<p>農業に参画したことで、農薬や化学肥料依存度の大きいことが分かった。長期的に見ると環境や農業従事者への人体への影響や従事者減少などに繋がると考えられる。</p> <p>ミネラルが与える影響については、比較検討に長期の時間を要するため、継続することで変化が現れると推測される。</p> <p>しかし、農業に費やす長時間とそれに伴う収益が得られないことが活動継続を困難にしていると感じるので、次年度以降は収益が見込める事業展開を検討したい。</p>		

NPO法人LIGアカデミー

R5

R6

サイレントカップ



目的

- ・育成世代において大切な『自主性、主体性、考える力、行動に移す力』それらに知恵工夫を取り入れ成長させる。
- ・指導者、保護者が発見できなかった子どもたちの良さ、可能性に気づくきっかけをつくる。

事業の内容	<p>【サイレントカップ】 1日目 15分予選 2日目 20分順位決定戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別ルールを設けて自主性、主体性を大事にする。 <ul style="list-style-type: none"> ①指導者、保護者の指示一切禁止。 ②毎試合全選手5分以上の出場確保。 ③指導者、保護者、選手らの場所を分ける。 ・SDGsをテーマにしたブースを設け、家族で楽しめ、環境問題に触れるきっかけづくりをする。 		
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS発信したことにより県外参加者の増加。 48チーム(昨年度36チーム) ・子どもたちの成長 大会の趣旨である「自主性、主体性」を身につける場面が多く見れた。 		
参加人数	約1,200名	対象経費	表彰に関する経費(需用費) 審判委託費(委託費) トレーナー委託費(委託費) カメラマン委託費(委託費) 応急処置委託費(委託費) など
総事業費	485,194円		
交付確定額	150,000円		
代表者	理事長 大谷 翼		
実施状況	開催日:8月17・18日		
実施場所	筑豊緑地、健康の森、立岩小学校、西鞍の丘		
実施期間	令和6年8月1日～10月31日		
次回以降の見通しと課題	次年度以降も開催予定。 飯塚市の魅力を拡散できる大会にするため恒例とし、参加チーム数増と飯塚市内だけの開催を目指す。 そのために、参加経費の負担となる宿泊施設の確保、施設体制を整える。		

飯塚レクリエーション研究会

R5

R6

◇ 身近でアウトドア(秋編) (親子でアウトドアクッキング)



目的

アウトドアスクールで焚火の仕方や火おこしを学んでも「実際に使える場所が無い」などの声が寄せられた。
学んだものを有効に使い、身近でアウトドア体験することで、災害時対応能力の訓練・知識や経験を提供でき、自然との向き合い方を学ぶ。

事業の内容	<p>市報等での公募で募った一般市民(10家族)を対象に、デイキャンプを基本とし、焚火、炭火を使った野外調理を行う。</p> <p>また、災害時に役立つよう火起こし、非常時の調理法などを講習会方式で行う。</p>		
事業の成果	<p>芝生上での野外調理や身体を伸び伸びと動かし、テレビゲームとは違った体験ができたのでは、と思う。</p> <p>成果率70%</p>		
参加人数	7名	対象経費	野外活動指導員(報償費)
総事業費	144,916円		指導員交通費(旅費)
交付確定額	104,000円		チラシ・資料印刷等(需用費)
代表者	会長 福間 俊夫		食材・材料費(需用費)
実施状況	開催日:10月26日		保険料・通信費(役務費)
実施場所	かほ兵衛敷地内芝生広場		運搬車両・用具レンタル(使用料)
実施期間	令和6年9月20日~11月26日		など
次回以降の見通しと課題	<p>子どもたちの遊び時間の充実。</p> <p>『遊びながら学べるアウトドア』を前面に押し出す。</p>		

NPO法人サカエ会

R4

R5

R6

アンブレラスカイin飯塚



目的

- ・日頃体験できないこと、見るできないことを皆でコミュニケーションをとりながら思い出を残してもらう。
- ・令和6年の能登半島地震への募金。
- ・ハロウィン・フォトコンテストを組み込んで、飯塚市に楽しいイベントがあることを知ってもらう。

事業の内容	<p>【10月13日～11月8日】イベント開催 【10月13日】参加者に傘へ絵を描いてもらう。(160本) 【10月13日】飾りつけ 【11月9日】撤去作業➡傘の引き取り会 【～11月29日】サカエ会事務所にて傘のお渡し ・ミニフォトコンテスト開催(20件近くの応募あり)上位3名に景品授与。</p>		
事業の成果	<p>・傘:160本(昨年:120本)同伴者合わせると約250名の参加</p> <p>【参加者へのアンケート結果】 「大変満足また参加したい」➡100% 「また開催してください」、「参加人数ふやして欲しい」、「去年に引き続き参加しました」との声を多くいただいた。</p> <p>・家族、友達との参加も多く、コミュニケーションが取れていた。 ・サカエ会のメンバーと参加者とのコミュニケーションも取れていると感じた。 ・SNSにより、福岡市・北九州市の見学者がいたことが知れた。</p>		
参加人数	約250名	対象経費	<p>ポスター、チラシ(印刷製本費) HP編集・管理費(委託費) 送料、手数料(役務費) 文具、傘、金具、(需用費) 司会、音響(委託費) 景品(消耗品費) など</p>
総事業費	344,424円		
交付確定額	200,000円		
代表者	代表理事 伊藤 栄一		
実施状況	開催日:10月13日～11月8日		
実施場所	イヅ カミュニティーセンター		
実施期間	令和6年6月1日～12月30日		
次回以降の見通しと課題	<p>・撤去日以降の「送ってほしい」などの傘の受け取り要望に応えることが出来なかったため、お子さんの学校に配るなども検討している。</p> <p>・予約開始2週間で予約が埋まり、問い合わせを多数いただき検討したが場所の関係で難しく増やすのを止めた。</p> <p>・受け取りのない昨年・今年の傘を来年度は商店街に飾ってもらえるか相談しようと思う。</p>		

明星(あかり)

R5

R6

革新的農業への道



目的

山間部での休耕地で、高齢化と後継者不足で困窮する農家と、農業に興味を持つ若者が手を結び合い、有機農業・無農薬菜園事業に取り組み地域を牽引する農業集団を起こす。

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・有機・農薬不使用の農法で野菜(特に芋類)を栽培。 ・イノシシ被害で荒らされた土壌の回復と改善作業。 		
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・畑全体がイノシシ被害に遭い芋の収穫、干し芋作りを断念した。しかし、「干し芋の販売ができない」のお詫びの連絡を、待ちわびていた多数の方々にしたところ、皆さんの落胆を痛いほど感じたので、地域の人気商品販売事業としての成長を予感できた。 ・大学の支援活動で大学生と先生方も定期的に農作業に参加してもらえた。 		
参加人数	28名	対象経費	肥料、農具、文具、印刷等 (需用費) ガソリン代、交通費(旅費)など
総事業費	210,852円		
交付確定額	156,000円		
代表者	代表 小池 正博		
実施状況	有機野菜栽培(主に芋類)		
実施場所	飯塚市明星寺あかり菜園		
実施期間	令和6年6月1日～令和7年3月28日		
次回以降の見通しと課題	<ul style="list-style-type: none"> ・イノシシ被害を受けない対策と荒れた畑の修復。 ・近郊の耕作放棄の畑を借り、土壌修復して全滅を免れるよう計画している。 ・販売できるだけの芋の収穫と干し芋商品販売が軌道に乗れば、人気商品としての地位を高めつつあるので事業としての道は開けると確信している。 		

赤坂調整池有効利活用企画委員会

R5

R6

飯塚を桜で彩ろう (さくらびとPROJECT)



目的

周辺地域の雨水対策調整地の残地を活用して桜を植樹し、遊歩道やドックランを整備することにより、桜の木を通じて人とまちの和が広がり、人と人が交流できる場所として地域と人々を満開の桜で元気にする。

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・城山小学校原爆殉難者慰霊会より寄贈された「桜の苗木30本」を植樹。 <p>(単独事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手持ち花火大会「Hana Bonds Fes」開催。 		
事業の成果	<p>大きな花火を打ち上げるのではなく、手持ち花火であらゆる世代200名と一緒に楽しめる機会を提供できた。</p>		
参加人数	200名	対象経費	<p>真砂土購入(需要費) 柵設置(需要費) 木材支柱(需用費) など</p>
総事業費	385,000円		
交付確定額	200,000円		
代表者	会長 岩見 元照		
実施状況	・開催日:10月26日		
実施場所	花火大会/桜苗木植樹 :赤坂調整池		
実施期間	令和6年6月1日~令和7年3月31日		
次回以降の見通しと課題	<p>次年度以降も、地域活性化に活用する。</p>		

認知症の人と家族の会いづか

R6

認知症の人と家族の会いづかによる アルツハイマー月間

普及啓発及び認知症早期発見 新規イベント



目的

認知症は2025年には700万人(高齢者の5人に1人)に達するといわれているが、まだまだ知識や情報不足で誤解や対応に苦慮している本人・家族も多いので関心と理解を深める周知を、中核であるアルツハイマー型認知症の世界月間に行う。

事業の内容	<p>【飯塚市役所本庁舎1階多目的ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター資料設置、早期発見(簡易検査機)、仮想体験、個人面談、専門機関等の紹介。 ・アンケートにより、認知症の人達と暮らしていく方法について市民から意見をもらう。 ・本庁舎の窓にオレンジリングを作成しアルツハイマーを周知。 		
事業の成果	<p>【認知症体験】参加者45名中44名がVR視聴による認知症体験を行う。(予約は30名だったがマスクがなくなるまで利用してもらった。)</p> <p>【相談会】相談後、通院を決めて受診に至った方もいた。</p> <p>【オレンジリングドレスアップ】「視認が良く、よく目立っていた」との話があった。</p>		
参加人数	45名	対象経費	認知症簡易検査機レンタル料(使用料) 認知症体験機器レンタル料(使用料) オレンジリングドレスアップ材料費(消耗品費) ポスター展示用品(消耗品費) イベント用チラシ(消耗品費) 送料(通信運搬費) など
総事業費	159,886円		
交付確定額	117,000円		
代表者	世話人代表 安田 幸子		
実施状況	開催日:9月12日(啓発イベント) 開催日:9月11日~24日 (オレンジリングドレスアップ)		
実施場所	飯塚市役所1階多目的ホール、 飯塚市役所1階・2階多目的 ホール(オレンジリングドレスアップ)		
実施期間	令和6年9月12日~11月30日		
次回以降の見通しと課題	<p>今年度は医療機関など多くの支援を受け開催した。その協力体制を生かしながら、新たな団体にも参加依頼して開催する予定。会場は2階多目的ホールも使用して、介護の学習会や講演などを検討する予定。</p> <p>開始1時間は多数参加だったが、その後減少した為、参加人数の偏りのない施行と認知症の知識を深める為に、学校や福祉関連事業所への情報提供が必要と考えている。</p>		

目尾フォーラム

R6

鯉！来い！こいのぼり！



目的

人口も減り年々元気がなくなっている目尾地域に活力を高めるため。

事業の内容	目尾河川敷にて鯉のぼり設営、周辺のごみ拾い。		
事業の成果	<p>【鯉のぼり】20年以上続けている事業の継続ができ、周辺住民から喜びの声を頂いた。</p> <p>今後、一般の方や保育園、高齢者施設の方々が見学予定。</p> <p>市報に、こいのぼりの設営を掲載したことで、見学者が増えたと感じられた。(市への問い合わせが多かった)</p> <p>【ごみ拾い】4袋と少なかったが地域に貢献できた。</p>		
参加人数	40名	対象経費	穴掘り委託費(委託費) ソーチェーン(需用費) など
総事業費	204,741円		
交付確定額	129,000円		
代表者	会長 川上 直哉		
実施状況	開催日:3月30日		
実施場所	目尾河川敷		
実施期間	令和7年3月28日~3月31日		
次回以降の見通しと課題	<p>鯉のぼりの収集、竹の確保など一年かけてやって行こうと考えている。</p> <p>参加者の殆どが関係者であったので、広く周知し様々な方に関して頂くよう努力する。</p>		

うっちーの。

R6

子育てママへのクリスマスプレゼント。



目的

年々減少する内野小学校の生徒。特に地元の子どもが減ってきている為、内野の良さを伝えるイベントや空き家紹介などで、移住による児童数を増やす。(2016年からの活動で4世帯が移住)

また、子育てで忙しい母親の居場所や移住者の交流の場作り。

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代向け～ 地元在住講師による「パン作り教室」開催。 ・北九州市の人形劇“ののはな”による～ 「人形劇・ワークショップ」開催。 		
事業の成果	<p>○外部参加者➡12名 ○地元子ども参加者➡20名以上</p> <p>年上の子が初参加の子のお世話をする場面が多く見られ、「内野は子育てしやすそう」「小学校考えてみたい」との言葉をいただき、“内野”の良さをアピールできたと思う。</p>		
参加人数	40名	対象経費	<ul style="list-style-type: none"> 劇団講演料(報償費) パン作り講師代(報償費) 茶話会代(食料費) パン作り材料費(食料費) 昼食食材費(食料費) チラシ・のぼり旗代(消耗品費) お土産代(消耗品費) など
総事業費	186,991円		
交付確定額	135,000円		
代表者	会長 渡辺 和恵		
実施状況	開催日:12月22日		
実施場所	正円寺(内野)		
実施期間	令和6年12月1日～令和7年1月17日		
次回以降の見通しと課題	<p>次年度も申請を考えているが、イベントの周知と参加したくなるような内容にする必要がある。</p>		

久世ヶ浦自治会

R5

R6

久世ヶ浦自治会なないろ事業 ～クリスマス会で世代間交流～



み～んなおいで!

12月22日(日)

久世ヶ浦 クリスマス会

12:00～16:00 (よてい)

場所: 久世ヶ浦集会所内外

もちつき大会

9:00～12:00 (よてい)

もちつきするよ!

ゲームするよ!

あ! ケーキもあるよ!

この事業は「飯塚市まちづくり応援補助金チャレンジing事業」で行っています



目的

- ・昨年、20年ぶりにクリスマス会を復活でき、沢山の方に参加いただいた。継続し続け、更なる自治会の活性化をしたい。
- ・本事業をきっかけに自治会行事にも参加してもらえれば、幅広い世代間交流を築くことが出来、世代交代をしても継続できる「協働のまちづくりの推進」ができると考え申請いたしました。

事業の内容	<p>午前中:もちつき大会 子どもたちは大人に、豚汁作り・餅丸めを教えてもらう。</p> <p>午後:絵馬を皆で作成。➡完成した絵馬と餅を80歳以上の高齢者宅へ大人と子どものペアで届ける。</p> <p>その後、集会所にてクリスマス会を開催。</p>		
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザとコロナの流行で不参加の連絡もあり参加人数が心配されたが、大人29名、子ども9名が参加してくれた。 ・餅のつき方や豚汁作りを楽しく教わったり、絵馬を知らない子どもが多くいたが、意味を伝えると興味深く聞いてくれ、「先生や友達に伝えたい」「来年もまたしたい」と言ってくれた。 ・外出を控えていた高齢者も、子どもから嬉しそうに絵馬を渡されて、「楽しそうだから来年は参加したい」と言ってくれた。 		
参加人数	38名	対象経費	チラシ、ポスター印刷費 (需用費) 紙皿、紙コップ等消耗品 (需用費) 食材、材料費(需用費) ガスコンロレンタル料(使用料) など
総事業費	168,054円		
交付確定額	115,000円		
代表者	自治会長 徳島 勝		
実施状況	開催日:12月22日		
実施場所	久世ヶ浦集会所内外		
実施期間	令和6年12月15日~12月31日		
次回以降の見通しと課題	<p>自治会全員にチラシで周知し継続出来る見通し。</p> <p>周知が一ヶ月前では既に予定があり、参加できない方もいたので、『年間行事表』を作成し年度初めに全世帯に配布する早目の周知が必要としました。</p>		

神之浦自治公民館

R5

R6

三世代交流～敬老者感謝の集い～



目的

70歳以上の敬老者と次世代を引き継ぐ青壮年世代の地域活動の承継。
また、青少年の参加者との交流による地域の安全安心の見守り活動等、世代間の交流。

事業の内容	高齢者と地域住民参加の懇親会・カラオケ大会		
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝の集いの対象敬老者62名中24名参加。 ・引きこもりがちな日々から解放され、楽しい会話ができたと喜ばれた。 ・4名の男性から「これを機会に“いきいきサロン“にも積極的に参加します」の声をいただいた。 		
参加人数	40名	対象経費	記念品(需用費) チラシ作成費(需要費) など
総事業費	161,162円		
交付確定額	62,000円		
代表者	公民館長 本川 恭介		
実施状況	開催日:11月3日		
実施場所	神之浦公民館		
実施期間	令和6年11月3日~12月31日		
次回以降の見通しと課題	<p>感謝の集いの対象敬老者の参加率38.7%</p> <p>元気な高齢者が減ってきているが、民生委員、児童委員、福祉委員と協力して参加率50%を目指していきます。</p>		

獅子舞フェスティバル実行委員会

R6

獅子舞フェスティバル



目的

各地区で家内安全、五穀豊穡、子孫繁栄などを祈願して獅子舞が行われているが、高齢化などによる後継者不足で存続危機に直面しているところも少なくない。

大分の獅子舞が300周年に当たる2024年を記念して各地区の獅子舞が大分八幡宮に奉納されるのに合わせ、獅子舞フェスティバルを開催し伝統芸能を通じて地域間交流と活性化を図る。

事業の内容	飯塚市、嘉麻市で獅子舞を実施する団体及び一般市民が一堂に会して、獅子舞披露、獅子舞体験、パネル展示などを行う。		
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の獅子舞が一堂に会することで、地域の歴史や共同体の絆を象徴するものであると改めて感じれた。また市内外から多数来場していただき地域の魅力を発信できた。 ・大分小学校5年の児童が大分獅子舞保存のメンバーから聞き取りを行い、「大分獅子舞物語」を作成した。地域の伝統文化を伝えるツールとして活躍が期待される。(R7年1月20日インターネットラジオで朗読が放送された。) ・嘉穂高校放送部が獅子舞文化を題材としたラジオ番組を作成。かがわ総文祭2025に出場が決まる。(2025年8月開催) 		
参加人数	2,000名	対象経費	トナー、景品等(消耗品費) ポスター、看板等(需用費) 郵便料(役務費) 会議使用料(使用料) など
総事業費	817,057円		
交付確定額	300,000円		
代表者	実行委員長 伊佐 便		
実施状況	開催日:12月1日		
実施場所	大分八幡宮		
実施期間	令和6年8月1日～令和7年1月31日		
次回以降の見通しと課題	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の開催は、400周年となる100年後を予定している。 ・まちづくりの一環として地域外の人にも参加を呼びかけ、関係人口を増やして行くことで、地域への誇りと愛着の醸成に繋がると考えられる。 ・「大分獅子舞物語」を演劇の題材として活用することで、親しみやすい形で伝統文化の紹介を行えると期待される。 		

穂波若者実行委員会Academy's

R6

ほなみ ウォーーク!!!

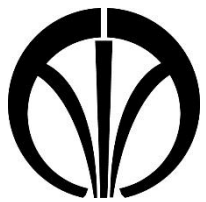


目的

穂波4校区には地区全体のイベントがなく、他の地区に比べ盛り上がり欠ける印象があった。

誰もが参加できるイベントとして毎年1校区を順番にめぐるウォークラリーで健康維持と地域・世代交流を図り、穂波地区の環境や未来について考えて行動するきっかけづくり。

事業の内容	穂波 高田校区において地域住民148名と、3キロコース・6キロコースに分かれてウォーキングを開催。		
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・【参加者アンケート】に見た成果 「運動不足を解消できた」「楽しく歩けた」⇒健康増進に貢献。 「孫と歩けてよかった」「小さなお子さんと一緒に歩けて楽しかった」⇒地域交流、世代交流の場提供。 ・自然に触れながら歩いたことで、穂波についてより理解を深めるきっかけになった。 ・地元企業や商店主の協力が得られ今後のイベント時のネットワーク形成ができた。 		
参加人数	148名	対象経費	スポーツ保険(役務費) 印刷・缶バッチ(消耗品費) 看板・ゴミ袋(会場設営費) 飲料水・チェックポイント配布物(食料費) など
総事業費	165,937円		
交付確定額	124,000円		
代表者	代表 藤川 祐介		
実施状況	開催日:3月20日		
実施場所	穂波 高田校区		
実施期間	令和6年12月2日～令和7年3月31日		
次回以降の見通しと課題	<ul style="list-style-type: none"> ・まち協委員の方が積極的に運営に関して下さり、イベント開催の技術や知識を共有できた。 ・募集を上回る申し込みや問い合わせ数から、増員での開催が期待されていると感じる。規模を拡大するなら運営に関する仲間作りと業務内容の手引きが必要。 		



令和6年度 飯塚市協働のまちづくり応援補助金(チャレンジing事業)活動レポート

【発行】 飯塚市 市民協働部 市民活動支援課

TEL:0948-96-8259

Mail:shiminkatsudou@city.iizuka.lg.jp